



2019年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年2月12日

上場会社名 株式会社ビーブレイクシステムズ
 コード番号 3986 URL <https://www.bbreak.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白岩 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 熊田 圭一郎

TEL 03-5487-7855

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年6月期第2四半期の業績(2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	551	4.3	74	14.8	74	14.8	52	14.5
2018年6月期第2四半期	575		87		87		61	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	33.81	33.80
2018年6月期第2四半期	43.22	39.75

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を2018年6月期より行っているため、2018年6月期第2四半期の増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	1,422		1,117			78.5
2018年6月期	1,347		1,083			80.4

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 1,117百万円 2018年6月期 1,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		12.00	12.00
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	6.0	180	6.7	180	6.9	127	8.8	82.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	1,536,960 株	2018年6月期	1,536,280 株
期末自己株式数	2019年6月期2Q	79 株	2018年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	1,536,535 株	2018年6月期2Q	1,405,754 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業業績や、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しましたが、海外では米国の超保守的政策により中国との貿易摩擦が激化するなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社が属する市場および顧客においては、企業のシステム投資ニーズは非常に高いものとなっている一方で、エンジニアの需要も高水準を維持しており、人材確保は業界共通の課題となっております。

こうした環境の中、当社は、“ITで経営の今を変える、未来を変える”のコンセプトメッセージを掲げ、クラウドERP「MA-EYES」を中心としたパッケージ事業や、システムインテグレーション事業の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高551百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益74百万円（同14.8%減）、経常利益74百万円（同14.8%減）、四半期純利益52百万円（同14.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①パッケージ事業

主力商品であるクラウドERP「MA-EYES」について、新規受注が大幅に増加し、また、前期に受注した案件の稼働に伴い保守料等が増加しましたが、一部案件において納入遅延が発生し、追加工数の投入を余儀なくされたことから、売上高は366百万円（前年同四半期比26.0%増）、セグメント利益は168百万円（同19.8%増）となりました。

②システムインテグレーション事業

堅調なIT需要を背景に単価・稼働率とも堅調に推移しましたが、パッケージ事業の受注増加に伴い、一部技術者を本事業からパッケージ事業に配置転換したこと等から、売上高は185百万円（前年同四半期比35.2%減）、セグメント利益は50百万円（同34.9%減）となりました。

③その他

新卒の採用増に伴い教育に係る人件費が増加したこと、パッケージの提案に係る人件費が増加したこと、および、技術者の中途採用に係る採用費が増加したことなどから、全社費用は144百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は1,422百万円となり、前事業年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に、売上規模の堅調な推移に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は305百万円となり、前事業年度末に比べ41百万円増加いたしました。これは主に、パッケージ事業の新規受注および保守やSaaS版利用料に係る前受金の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は1,117百万円となり、前事業年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2018年8月13日の「2018年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,891	1,213,043
売掛金	185,770	138,900
前払費用	17,019	15,224
未収収益	6	—
未収入金	—	3,273
立替金	182	160
その他	268	244
流動資産合計	1,296,136	1,370,845
固定資産		
有形固定資産	218	196
無形固定資産	6,965	5,993
投資その他の資産		
敷金	23,212	24,167
繰延税金資産	20,813	20,813
投資その他の資産合計	44,025	44,980
固定資産合計	51,208	51,169
資産合計	1,347,344	1,422,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,460	13,487
未払金	3,847	4,035
未払費用	22,293	14,952
未払消費税等	12,083	11,570
未払法人税等	33,448	27,296
未払事業所税	1,514	771
前受金	98,015	132,683
預り金	21,405	8,970
賞与引当金	—	30,306
受注損失引当金	337	580
未払配当金	86	196
流動負債合計	207,488	244,848
固定負債		
退職給付引当金	56,494	60,293
固定負債合計	56,494	60,293
負債合計	263,982	305,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,532	232,632
資本剰余金	285,962	286,063
利益剰余金	564,867	598,376
自己株式	—	△198
株主資本合計	1,083,362	1,116,873
純資産合計	1,083,362	1,116,873
負債純資産合計	1,347,344	1,422,013

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	575,190	550,555
売上原価	326,863	314,934
売上総利益	248,327	235,620
販売費及び一般管理費	161,562	161,702
営業利益	86,765	73,918
営業外収益		
受取利息	3	5
有価証券利息	19	—
その他	—	0
営業外収益合計	23	5
営業外費用		
支払利息	32	42
株式交付費	121	30
その他	—	1
営業外費用合計	153	73
経常利益	86,635	73,851
税引前四半期純利益	86,635	73,851
法人税等	25,877	21,907
四半期純利益	60,758	51,944

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計の用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	290,386	284,804	575,190	—	575,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	290,386	284,804	575,190	—	575,190
セグメント利益	140,493	76,555	217,048	△130,283	86,765

(注) 1. セグメント利益の調整額△130,283千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	366,022	184,533	550,555	—	550,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	366,022	184,533	550,555	—	550,555
セグメント利益	168,338	49,869	218,207	△144,289	73,918

(注) 1. セグメント利益の調整額△144,289千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。